

# 令和4年度 第1回 釧路市障がい者自立支援協議会 定例会（結果）

## 【議事】

### 1. 議長選出

（意見）

- 自薦           なし
- 他薦           なし
- 事務局一任   20

事務局一任の意見が多数でした。議長、副議長は下記のとおりです。

議 長	佐々木 寛	一般社団法人 ソーシャルカフェ 代表理事
副議長	池田 和騎	釧路市児童発達支援センター 所長

### 2. 釧路市障がい者自立支援協議会の開催について

（意見）

- コロナ禍においてはやむを得ないと思いますが、参集会議の方が委員の顔が見え、横のつながりも構築できるので効果的であると考えます。
- 現状では、今回のような「書面開催」や、以前の「オンライン開催」が好ましいと考えます。開催時期や回数は「資料4」のスケジュールで概ね良いとは思いますが、「雇用就労部会」も年4回で支障ないと感じます。
- 情報交換、収集の場として大変ありがたい存在ですが、一日も早く集会できる環境になると良いと感じます。
- 最近釧路市内からの入学者が減る傾向にありますが、少なくなったとはいえ在学しておりますので、参加させて頂きたいと考えております。よろしくお願い致します。

### 3. 釧路市障がい者自立支援協議会運営会の状況について

（意見）

- 基幹センターが本来の業務に集中できるように、協力していきたいと思っております。

## 4. 相談支援体制について

(意見)

- 委託相談事業について、より高度な内容となるため、その在り方や位置づけ、専門職配置等、限られた人材・予算の中で協議を重ねる必要があると思われます。資料7のとおり、令和5年度以降の精査で良いと考えます。
- 定期的な状況は定例会等で確認できるので、今後も現行通りに必要時の連携や情報提供を願っています。
- 委託相談が少しでも事業として成り立ちやすい環境になればいいと思います。

## 5. 障がい者地域生活支援拠点等事業について

(意見)

- 現在は相談支援事業所などでご苦労されているかと思いますが、受け入れ施設としては事業が進む中で出てくる困難さについても想定し、準備していけたらと思います。
- これから同様のニーズが増えていくものと予想されます。更に事業周知を行い、ニーズをキャッチ出来る様な工夫が求められると思います。
- 療育Bの方も状況に応じて対応してもらいたいと思っていましたが、今回の事業報告を見てイメージができ理解ができていきました。
- 釧路市でやっている、似た事業があったと思うのですが、そちらの利用状況等が知りたい。  
☞(事務局より)障がい者の緊急時の受入れを行う事業として、「ライフサポートさわらびの短期入所空床確保事業」がございしますが、利用実績はありません。なお、利用方法等について協議を進めており、適宜、皆様に周知していきたいと考えております。

## 6. 令和4年度 障がい福祉課主要事業の概要について

(意見)

- OGHの空き状況や情報についてももう少しこまめに知りたい。その他主要事業についても出来るだけこまめに知りたい。
- ☞(事務局より)釧路市障がい者自立支援協議会のホームページにグループホームの空き情報を掲載しておりますので、ご覧ください。なお、グループホームから空き情報の掲載について依頼を受けた場合は、速やかに情報を掲載しておりますので、希望されるグループホームは釧路市障がい者基幹相談支援センターにご連絡ください。  
また、障がい福祉課主要事業については、年度初回の定例会や全体会で説明させていただいております。主要事業の詳細についてご質問がある場合には、障がい福祉課までご連絡ください。

## 7. 障害福祉サービス等ニーズ調査結果について

(意見)

- 入所施設職員としては、当事者及び家族会のニーズで、まだ施設入所支援が、20%を超えていることに「親なき後の不安」を感じます。居宅介護やグループホームなどの地域生活サービスの充実は当然進めていくべきですが、施設入所が地域生活の選択肢の一つとなるような施設入所支援の見直しについても考えていきたいものだと思います。(何をするにも人材不足がネックになるのは残念ですが。)
- 多様なニーズがあることがわかりました。差別解消や災害問題、介護者や当事者の高齢化、課題が多いと思います。これらへのニーズに対し、ワンストップの相談窓口と、適切な相談先へ繋げるための事業所間の横の連携が重要であると感じました。
- 調査報告を確認し、今後の課題点、当事業所においても各ニーズに対応していけるよう務めていきます。災害時の対応については相互協力ができる事業所が少ない現状であり、対策を講じていきます。
- 障がい者福祉の立ち遅れを感じました。相談に来て下さい、が主だと前に進まないように思います。情報の発信不足を感じました。どのような障がいがあっても地域で生活できる、当たり前の街づくりを進めていく必要があると感じました。案は浮かびませんでした。
- 重度心身障がい児者や医療的ケアが必要な方の支援を行政はじめみんなで協力し少しでも実現に向けてほしいと感じました。
- 災害時に歩行や自分で避難できない人の避難方法やすぐに関わってくれる人を見つけ安心して生活できる環境作りが大切だなと思いました。
- 在宅介護の人達の負担をもう少し軽減できないのか。
- 大変分かりやすくまとめられており、参考になりました。気になった点としては、P2 障がい福祉サービス等の利用にあたり困っていることで、「サービスのことがわからない。理解ができない。」です。地域資源を必要な方に理解されていないのはもったいないと感じました。地域にある資源を活用するためにはどうすれば良いかを考えさせられる調査だと思いました。